



溶剤リサイクラー 20 リットル ディスプレイ付き 標準操作手順

1) 溶剤受け桶の設置

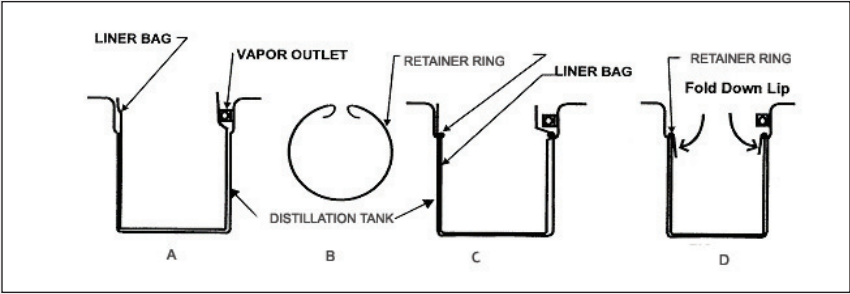
溶剤出口チューブが桶の開口部に挿入されるように受け桶を配置する。受け桶は 5 米ガロン（20 リットル）で、溶剤収容が認可されたものでなければならない。桶が金属製の場合、接地線のアリゲータークランプを桶の縁に接続する。溶剤移送システム（EP2 モデル）を搭載した機種の場合、以下の点を確認：溶剤出口チューブが桶の開口部に挿入されていること、キャップがしっかり締まっていること。



受け桶

2) 新しいライナーバッグの取り付け

- a) 品番（PN）LB900C-10 のライナーバッグを、以下の図（A）に示すように、バッグの底部が蒸留槽の底部に平らに接するように取り付ける。
- b) 親指と人差し指で固定リングを挟み、以下の図 B および C のようにライナーバッグの内部に挿入する。手を離し、固定リングが溝にしっかりと嵌まっていることを確認する。ライナーバッグのフラップを固定リングに折り返す。



新しいライナーバッグの取り付け



注意：

- バッグ素材が以下の状況にならないよう確保：
- 1) 蒸気出口ポートを閉塞する
- 2) 蓋と槽の間に挟まる

3) 蒸留槽への使用済み溶剤の注入 使用済み溶剤を固定リングの 2 インチ（約 50.8mm）下まで蒸留槽に注入する。過剰注入は凝縮器流路の閉塞や蓋ガスケットからの漏れを引き起こす可能性がある。蓋を閉め、カバーをする。温度設定値を変更する場合は、溶剤リサイクラーのマニュアルまたはカバーの説明に従う。

4) リサイクルの開始

「スタート（START）」ボタンを押す。蒸留が開始され、「加熱（HEAT）」ランプが点灯し点滅する。リサイクルを停止する場合は「ストップ（STOP）」ボタンを押す。溶剤が存在する環境では、プラグを抜かない。

危険：キーパッドのディスプレイに「準備完了（READY）」と表示されるまで、カバーと蓋を開けない。



キーパッド

5) リサイクルの完了

キーパッドのディスプレイに「準備完了（READY）」と表示されたら、リサイクルが完了する。

6) 精製溶剤の移送

- a) 精製されたリサイクル溶剤を入れた受け桶を取り外し、清潔で空の桶を設置する。
- b) 溶剤移送システム搭載モデルの場合：移送タイマーのノブを時計回りに最大限回し、精製されたリサイクル溶剤を受け桶から目的の容器に移送する。

7) 残渣の除去：

- a) 手袋と保護メガネを着用し、固定リングを取り外す。
- b) 残渣を含むライナーバッグが破れないように、ゆっくりと蒸留槽から取り出す。地域の法規に別段の定めがない限り、残渣は有害廃棄物として処分する。古い廃棄物を蒸留槽に残し、後から新しい溶剤を補充してリサイクルしない。

8) 蒸留槽の清掃

蒸留槽から残存する残渣を除去する。必要に応じて、バージン溶剤またはエチレングリコール（不凍液）を添加し、プラスチック製または木製の工具で清掃する。布で槽を拭き、乾かす。槽を損傷する可能性のある研磨剤や金属製工具で清掃しない。槽に残留した汚れや残渣は、リサイクル中に溶剤への十分な熱伝達を妨げる。

注記：凝縮により、リサイクル後に蒸留槽に約 1/8 ガロン（500 ミリリットル）の溶剤が残留する。この溶剤を槽に残すと腐食を引き起こす可能性がある。

9) 蓋の密封面の清掃：

布を使用し、以下の部分を清掃し乾かす：1) 蓋と蓋ガスケット 2) 蓋ガスケットが接する槽の上部である蓋の密封面。右側の写真を参照。この清掃により蓋ガスケットの寿命が延び、漏れが防止される。清掃中は蓋を回転させない。



蓋

蒸留槽

蓋の密封面



溶剤リサイクラー 20 リットル ディ スプレイ付き 標準保守及び安全手順

使用前の確認：

- ・ 蓋ガスケットに切れ目や硬化した部分がないか点検する。リサイクルごとに、蓋ガスケットからの溶剤漏れを確認する。損傷した蓋ガスケットは密封不良と蒸気漏れを引き起こし、危険且つ無駄である。損傷した蓋ガスケットは以下の保守手順に従って交換する。ガスケットは少なくとも 6 ヶ月に 1 回交換する。
- ・ 蓋を閉める前に、槽の上面が清潔で、塗料や汚染された溶剤がないことを確認する。槽が清潔で損傷がないことも確認する。

3 ヶ月ごと：

点検：

- ・ 溶剤リサイクラーが**防爆プラグとコンセント**（または防爆固定配線）を介して建物の電源に接続されていることを確認する。防爆接続は安全運転に必須であり、製品認証の維持にも必須である。防爆コンセントは本ページ下部に示す。
- ・ 受け桶が 5 ガロン（20 リットル）で、溶剤収容が認可されたものであることを確認する。桶が金属製の場合、接地線を桶に接続する。
- ・ 溶剤リサイクラーの周囲（リサイクラー背面 16 インチ、左右及び前面 10 フィート）を防爆区域として管理する。この区域を清掃し、残渣、その他の高温面、危険物を除去するとともに、非防爆コンセントなどのすべての点火源を排除する。溶剤リサイクラーの運転中に発生する溶剤蒸気を散逸させるため、この区域の換気を確保する。
- ・ 溶剤リサイクラーの修理が必要な場合、Uni-ram サービスエンジニアに 1-800-417-9133 で連絡する。修理は資格を持つ**防爆**修理業者が実施しなければならない。

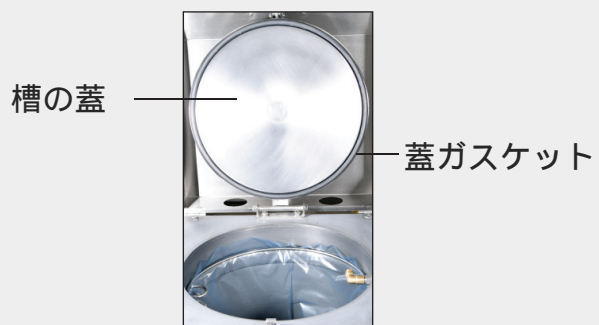
清掃：

- ・ 以下の保守手順に従って、1) 凝縮器 2) 蒸気出口ポートを清掃する。

保守手順

蓋ガスケットの交換

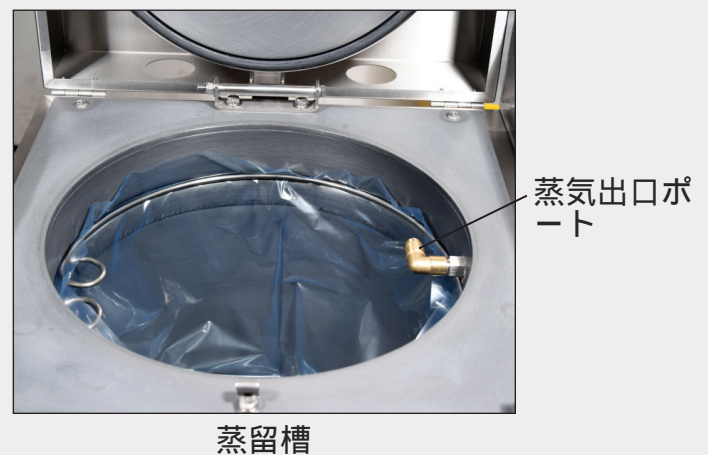
1. 安全カバーと槽の蓋を開ける。



2. フラットドライバーを使用して、損傷した蓋ガスケットを取り外す。
3. 新しい蓋ガスケットを取り付ける前に、蓋ガスケットが装着されていた蓋の縁を研磨材（不織布）で清掃し、汚染物をすべて除去する。ガスケットを石鹼水で湿らせ、指で蓋ガスケットの一部を溝に押し込む。順番に一周させて取り付ける。ガスケットが平坦で変形がないことが重要である。これは、ガスケットの水平シームが全長にわたって直線であるかどうかで確認できる。新しい蓋ガスケットの取り付けには、ガスケットを損傷する可能性のある工具や鋭利な物体を使用しない。
4. 蓋ガスケットの正常な機能を確認するため、10 リットルの清水でリサイクル運転を行う。

蒸気出口ポートの清掃

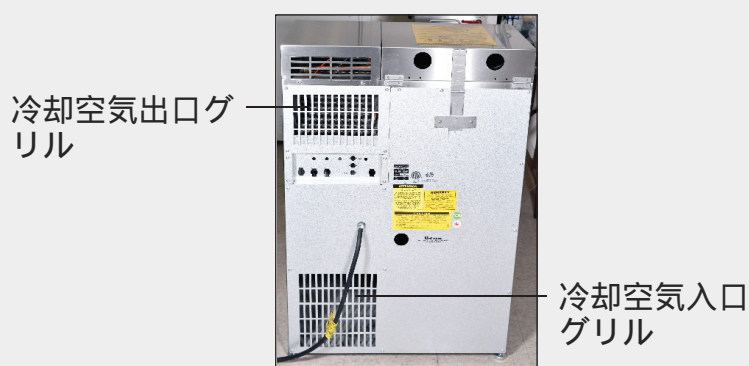
1. 小型のフラットドライバーを使用して蒸気出口ポートのキャップを取り外し、金属ピンで清掃する。必要に応じて、小型ドリルを使用するか、清掃前にキャップをシンナーに浸ける。キャップのすべての開口部が残渣なく閉塞されていないことが重要である。



2. 手またはウォーターブライヤーを使用し、蒸気出口ポートの黄銅製部分を槽壁のナットから取り外し清掃する。槽壁のステンレス鋼製ナットは取り外さない。
3. 蒸気出口ポートに布をかける。受け桶の上部、ドア内部に位置する溶剤出口チューブから、エアガンでエアを吹き込む。凝縮器内に残留している物質は、蒸気出口ポートから槽内に排出される。
4. キャップと蒸気出口ポートを再取り付けする。5 ガロンの清潔な溶剤でリサイクル運転を行い、蒸気出口ポートと凝縮器をフラッシュ（洗浄）する。

凝縮器の清掃

ブラシアタッチメント付きの掃除機を使用し、吸気グリルと排気グリルから塵埃を除去する。以下の図を参照。この清掃により凝縮器フィンから塵埃が除去され、凝縮器の効果的な冷却が可能になる。



防爆コンセント

本機器は溶剤を使用するため、防爆接続は安全運転に必須であり、製品認証の維持にも必須である。

